

えいようたっぷり給食だより

うるま市立石川学校給食センター

食育だより 第10号

〒904-1103 うるま市石川赤崎 1-3-2

Tel : 098-965-3150

1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

に ほん がっ こう きゅうしょく

日本の学校給食のあゆみ

石川センターでは、
1/26(月)~1/30(金)に実施します。

明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり
や ぎな
焼き魚
つげもの
漬物
(明治22年ごろ)

五色ごはん
えいよう
栄養みそ汁
(大正12年ごろ)

おうちで給食を話題にすると、
それぞれの思い出・好きな献立が違っておもしろいですよ！

し えん ぶつ し

支援物資による学校給食の再開

ゆた ん だて ない よう

バラエティー豊かな献立内容に

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミルク
トマトシチュー
(昭和22年ごろ)

コッペパン・ミルク
クジラの竜田揚げ
せん切りキャベツ
(昭和25~30年ごろ)

ミートスパゲッティ
牛乳
フレンチサラダ
(昭和40~50年ごろ)

カレーライス
牛乳・塩もみ
ゆで卵
(昭和51年ごろ)

このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を送ることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。



【1月の行事食・郷土食】

6日:お正月お祝い献立
7日:春の七草
9日:鏡開き(1/11)
16日:おむすびの日(1/17)
19日:食育の日
~ 全国学校給食週間 ~
26日:行事料理「ムーチャー」
27日:うちなーお菓子「アガラサー」
28日:地場産物
29日:琉球料理
30日:地場産物

ムーチャーとアガラサーは
小学校・中学校、
日を分けて提供します。

【石川中学校1年生 職場体験】

石川中学校の1年生4名が給食センターに職場体験にきました。野菜や果物を洗ったり、揚げ物を数えたり、大きな回転釜で食材を混ぜ合わせたりと、調理員さんのお仕事を2日間体験しました。

厚揚げの豚キムチ炒めの調理をしてもらいました。

全国学校給食週間では、地場産物を活用した献立を中心に、琉球料理や沖縄の行事食・おやつについてお伝えします。
給食を通して、沖縄について学ぼう~!!